■アフリカ健康構想第1回民間会合

■2019年6月5日開催（日本リザルツ東京事務所）

■参加団体　豊田通商株式会社、全日本空輸株式会社、富士フィルム株式会社、シスメックス株式会社、栄研化学株式会社、株式会社タウンズ、公益財団法人味の素ファンデーション、特定非営利活動法人日本リザルツ

■内容

民間による自律的なビジネス展開と公的支援を両輪とする「アフリカ健康構想」に基づき、官民連携を進めるため、参加者は「現地での認証取得」という課題を共有した。これに対して、フロアからは①コンセプトノートを通じた現地政府との対話が重要であり、複数企業を含めたパッケージで売り込むこと、ストーリーを描くことも重要になるのではないか②現地での認証取得には時間がかかるが、エビデンスが一度文献になっていると取りやすい③最初に入っていく際のエビデンスの質を担保する事が重要になるので、例えば、日本の有識者に書いてもらう、ネイチャー社等と連携するといった方法も可能かもしれない―といった提案があった。